

政策連動型ウェルビーイング評価指標の開発 - 共創的取組みに向けた新たな羅針盤 -



担当：企画部政策推進課



監修：教授 岩本武範

政策の“しあわせ効果”を見える化へ

- 磐田市の施策が市民幸福度に与える影響を可視化 -

磐田市の取組が、どのように「しあわせ」につながり関係しているのか
データで見えるようにすることで、市民の皆さまと「共創」を確かなものにする

- 政策連動型ウェルビーイング評価指標の開発 -

社会的背景①（国）

デジタル庁「地域幸福度指標（LWC）」の登場により、自治体単位での幸福度評価が進展



デジタル都市田園都市国家構想



地域幸福度
Well-Being 指標

RAIDA

RESAS

ダッシュボード

指標について知る

使いこなす

個別調査をする

ログイン

ダッシュボード

地域幸福度指標

表示中のデータ選択条件

都道府県を選択

市区町村を選択

調査種別を選択

年度を選択

静岡県

磐田市

個別調査

2023年度版（令和5年度版）

選択中の地域のアンケート回答者情報

地図を表示・地点を絞り込む

年代を絞り込む

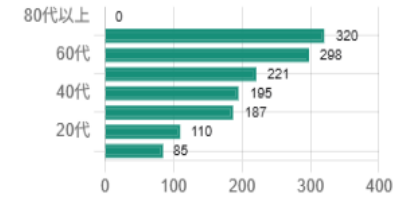
性別を絞り込む

回答者数

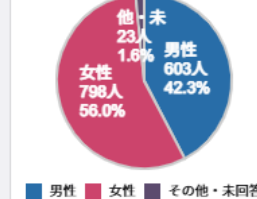
1,424

× 地点・年代・
性別の絞り込み
条件を解除する

年代



性別



地点、年代、性別を絞り込むと、それぞれ回答者数・年代・性別のチャート、また下部に表示中のWell-Being指標のチャートに反映されます。

※ 比較表示時は画面に表示されているグラフの回答者数が合算値で表示されます。

ダッシュボード切り替え

ダッシュボードメニュー

+ 比較自治体を追加

+ 比較年度を追加

比較のポイント

♡ お気に入りを表示

♡ 表示中の地域を
お気に入りに登録



内閣府

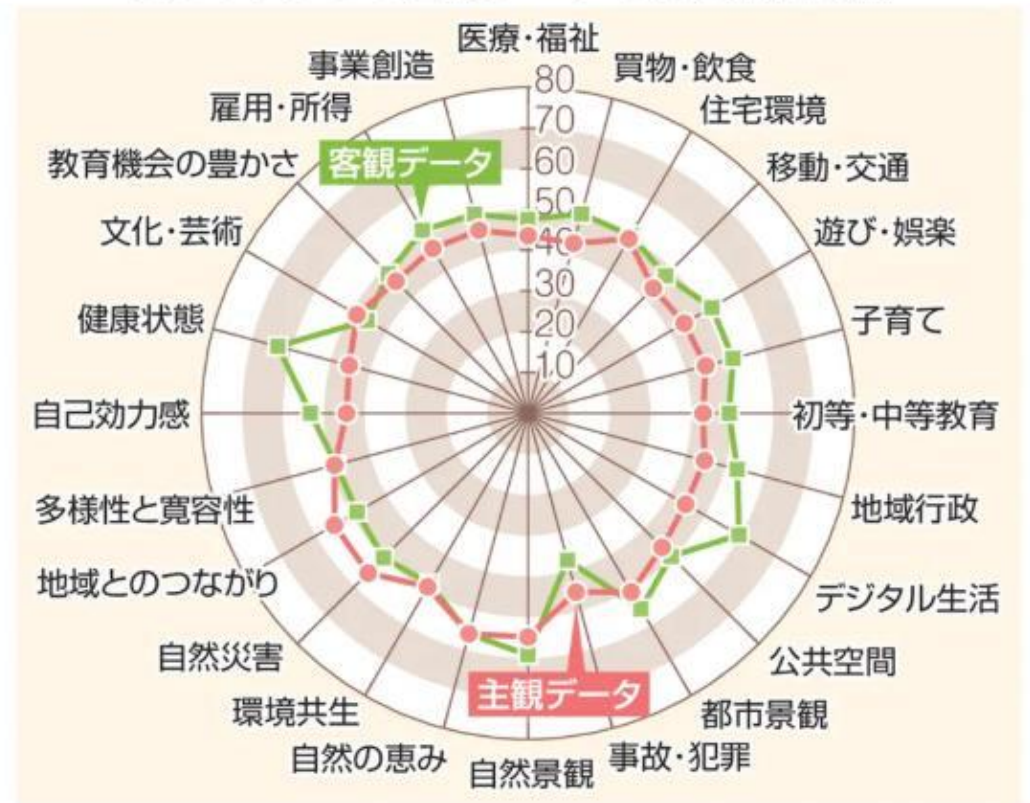
デジタル庁 Digital Agency

社会的背景②（静岡県）

☆静岡県でも「ウェルビーイング政策」の推進が活性化 — 県全体で“幸福度を測る文化”が広がりつつある —



全国Well-Being調査(2024年度)に基づく主観データ、暮らしやすさの客観データの比較(静岡県版)



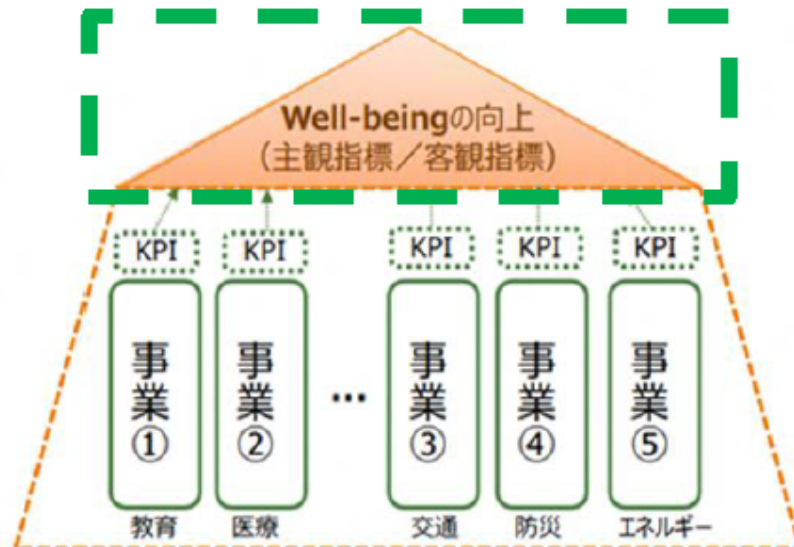
政策連動型ウェルビーイング評価指標（磐田モデル）



目指す価値観を市民と共有し共創する

= “安心できるまち” “人が集まるまち”の実現

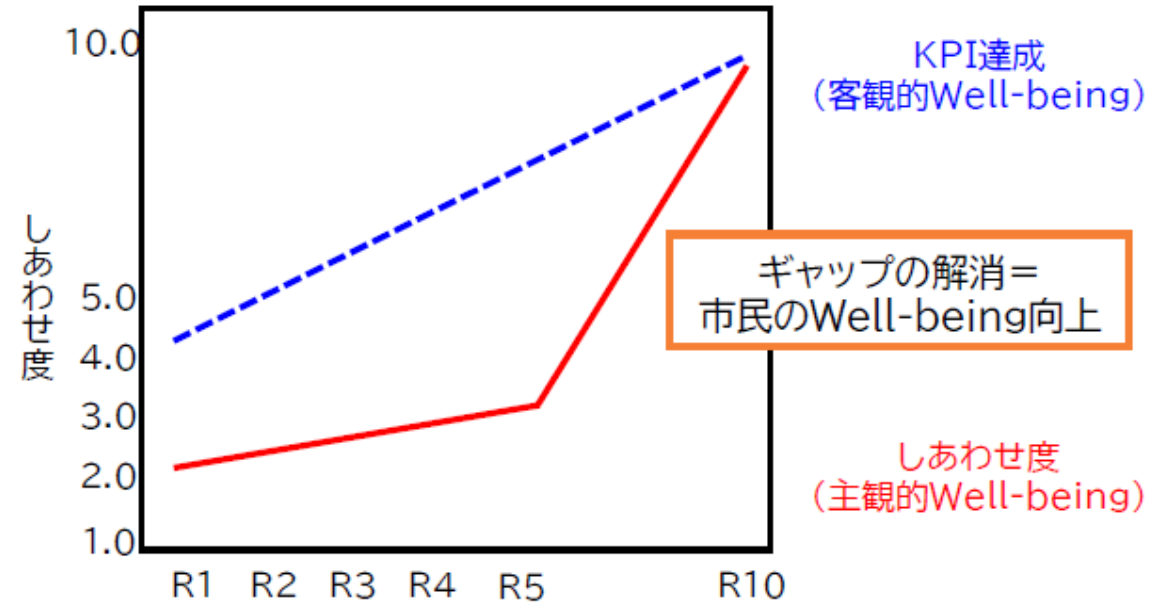
市民のニーズを的確に把握し、目指す価値観の達成へ向けた一貫性のあるKPI設定や効果検証を実施した事業を展開していくことで、市民の“ **Well-being（しあわせ度）** ” 向上につなげることが重要



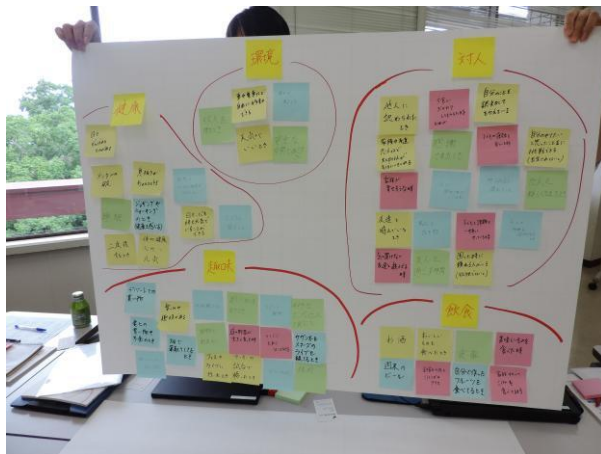
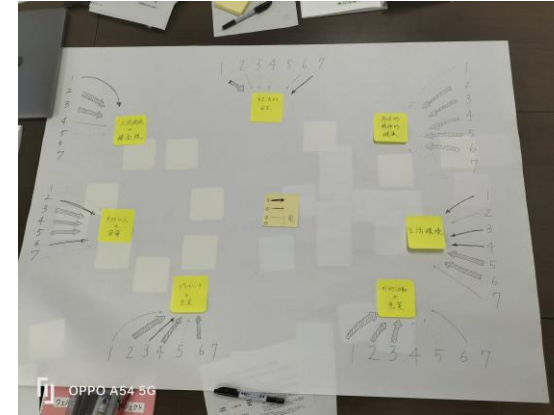
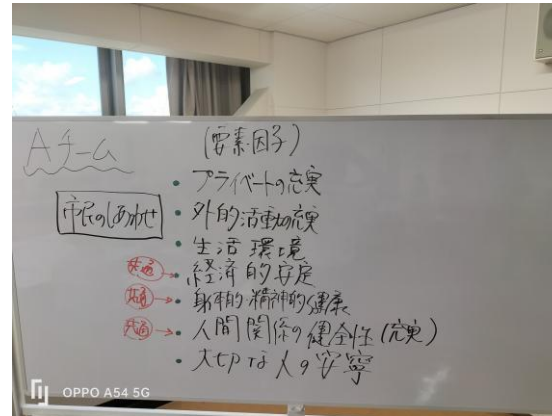
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート
『LWC指標利活用ガイドブック』引用



磐田市のウェルビーイング(イメージ図)



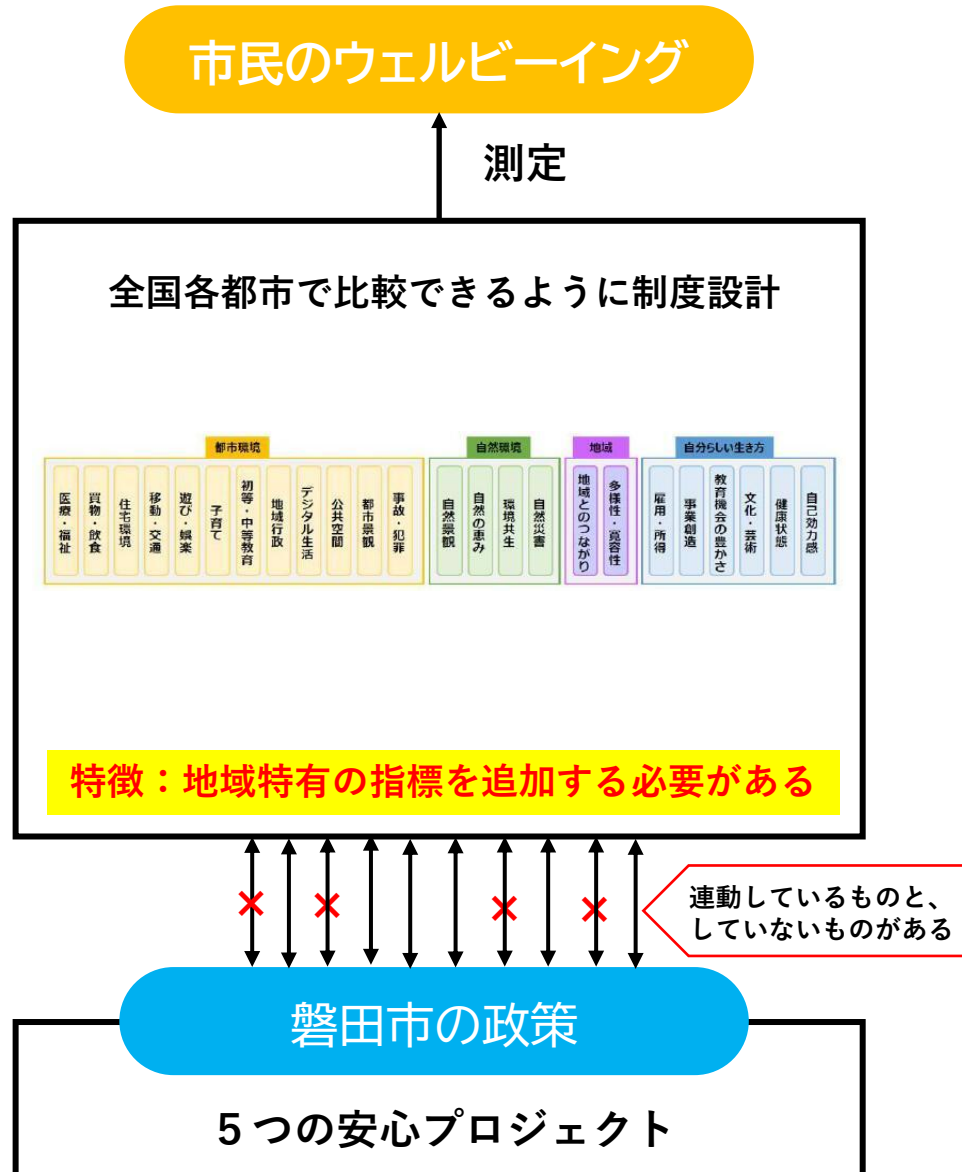
指標設計までの足跡



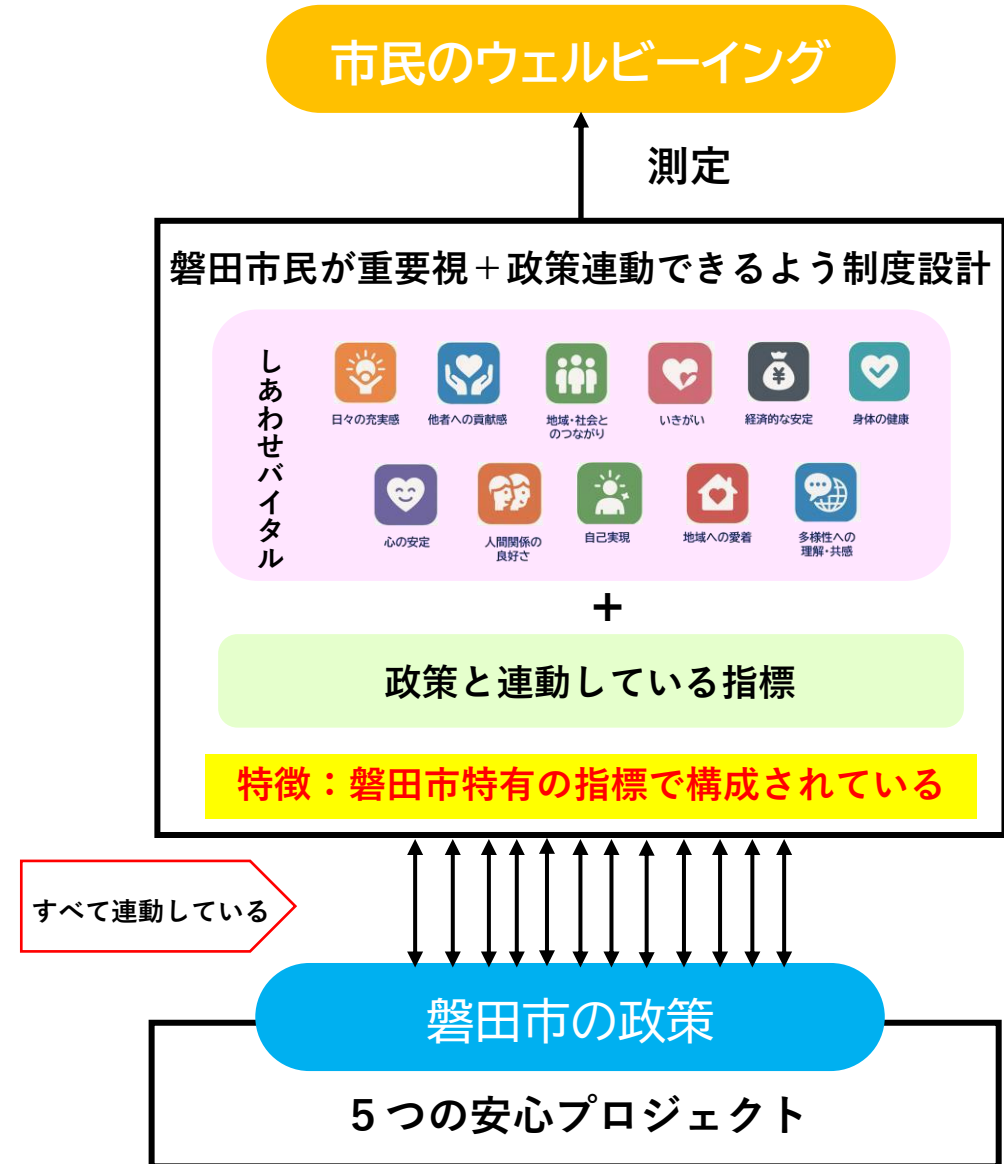
住みたいまち・幸せの言語化によりウェルビーイングのイメージを徹底的に議論

地域幸福度指標 と 政策連動型ウェルビーイング指標 との違い

地域幸福度指標の構造



政策連動型ウェルビーイング評価指標（磐田モデル）



ウェルビーイングの各要素（しあわせバイタル）

※庁内ワークショップ、市民アンケート調査などの意見を参考に、静岡産業大学 教授 岩本武範氏が学術的根拠をもとに監修したものです

しあわせバイタル



日々の充実感



他者への貢献感



地域・社会との
つながり



いきがい



経済的な安定



身体の健康



心の安定



人間関係の
良好さ



自己実現



地域への愛着



多様性への
理解・共感

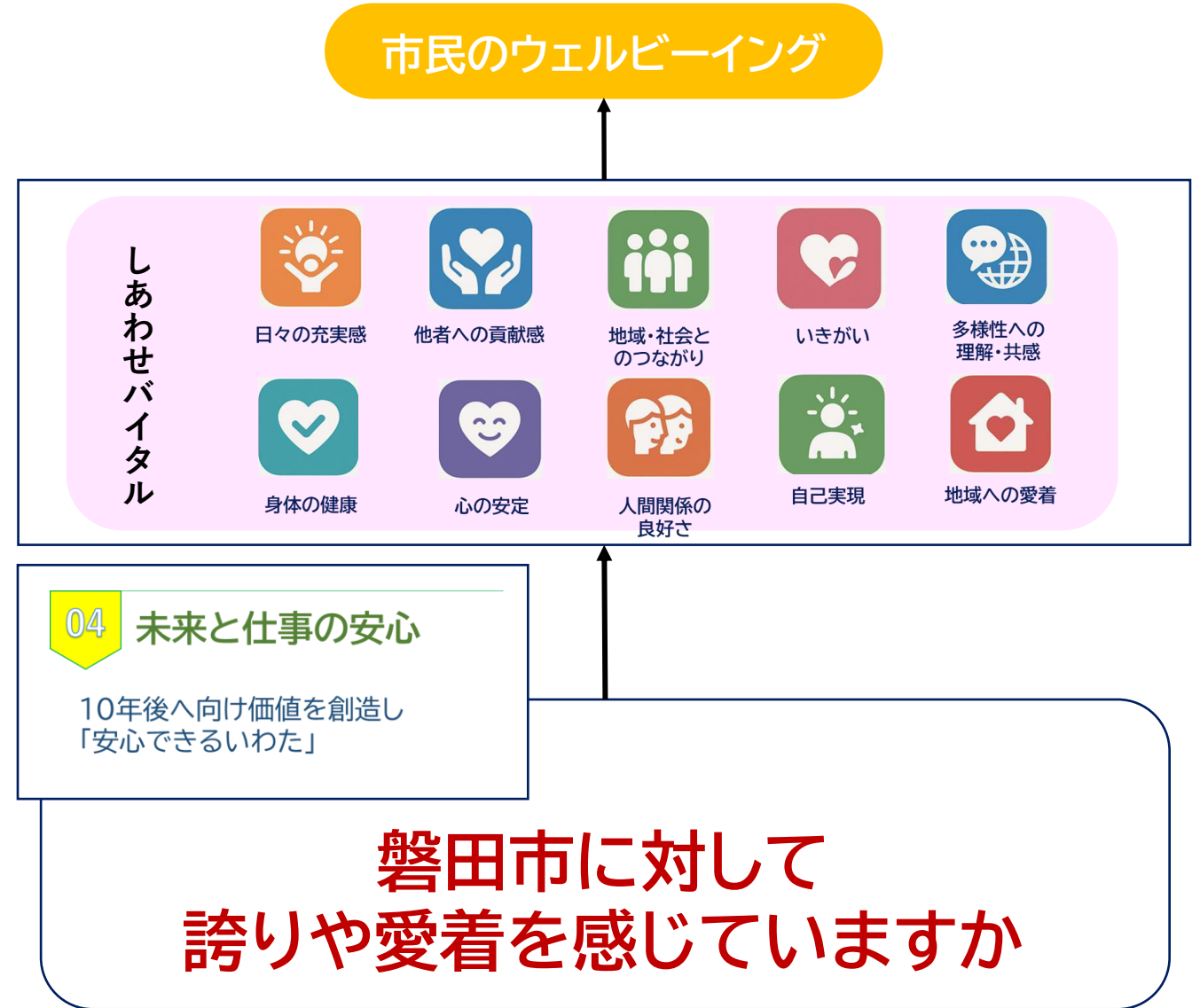
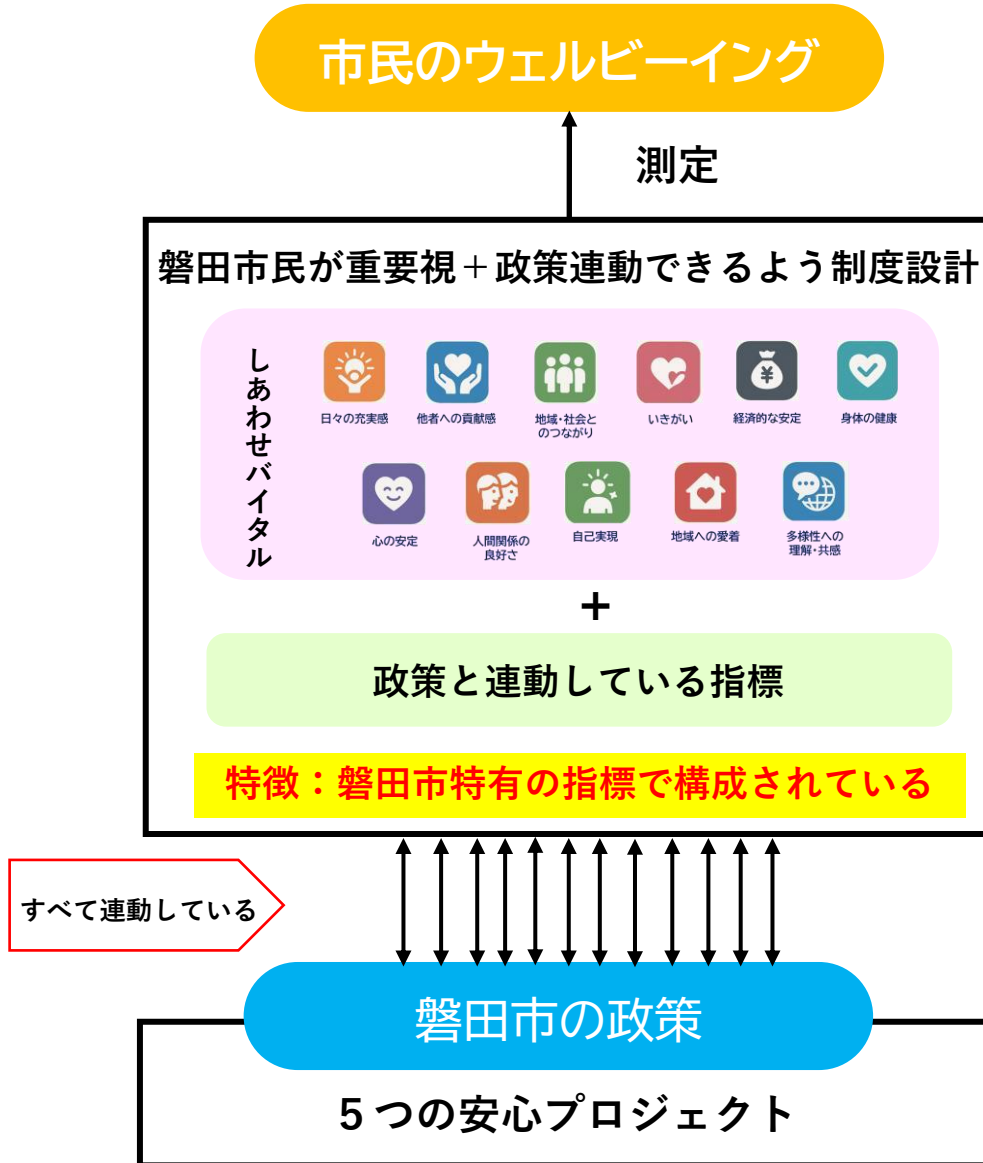
「しあわせバイタル」とは、市民の個別具体かつ多様に広がる「ウェルビーイングの各要素」をカテゴリ分類したものです。

磐田市の政策と、しあわせバイタルの各項目が、どのような関係にあるかを知ること、政策の貢献度が測定できる期待があります。

政策と市民の日常的営みの相乗効果によって、**共創的ウェルビーイング**の実現がなされるものと考えます。

ウェルビーイング評価までのルート（イメージ）

政策連動型ウェルビーイング評価指標（磐田モデル）



調査媒体と協力市民数

- 調査媒体 -



市民：1,958名



市民：850名

総計：2,646名

性別	母集団	サンプル
男性	77,249	1,115
女性	75,843	1,531
総計	153,092	2,646

居住区	母集団	サンプル
磐田地区	83,566	1,484
福田地区	15,511	521
竜洋地区	16,965	237
豊田地区	27,320	231
豊岡地区	9,777	173
総計	153,139	2,646

年代	母集団	サンプル
10代	15,666	30
20代	15,950	76
30代	17,307	294
40代	22,017	445
50代	23,129	561
60代	19,860	653
70代以上	39,160	587
総計	153,089	2,646

母集団に対して市民の女性割合が高く、20代以下の割合が低い。50代・60代の割合は高い。居住区においては、福田地区が高く、豊田地区が低い。
※カイ二乗検定により検証

※チェックキーにより重複回答者を仮定し除外している
※磐田市統計データを母集団として分析は重みを考慮している

※LINE登録者・回覧板閲覧者というバイアスが存在している
※年代・性別・居住区が完全に記載されたデータを対象としている

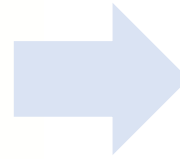
政策連動型ウェルビーイング評価指標を用いた 市民調査の結果





磐田市の
ウェルビーイング (現在)

6.79

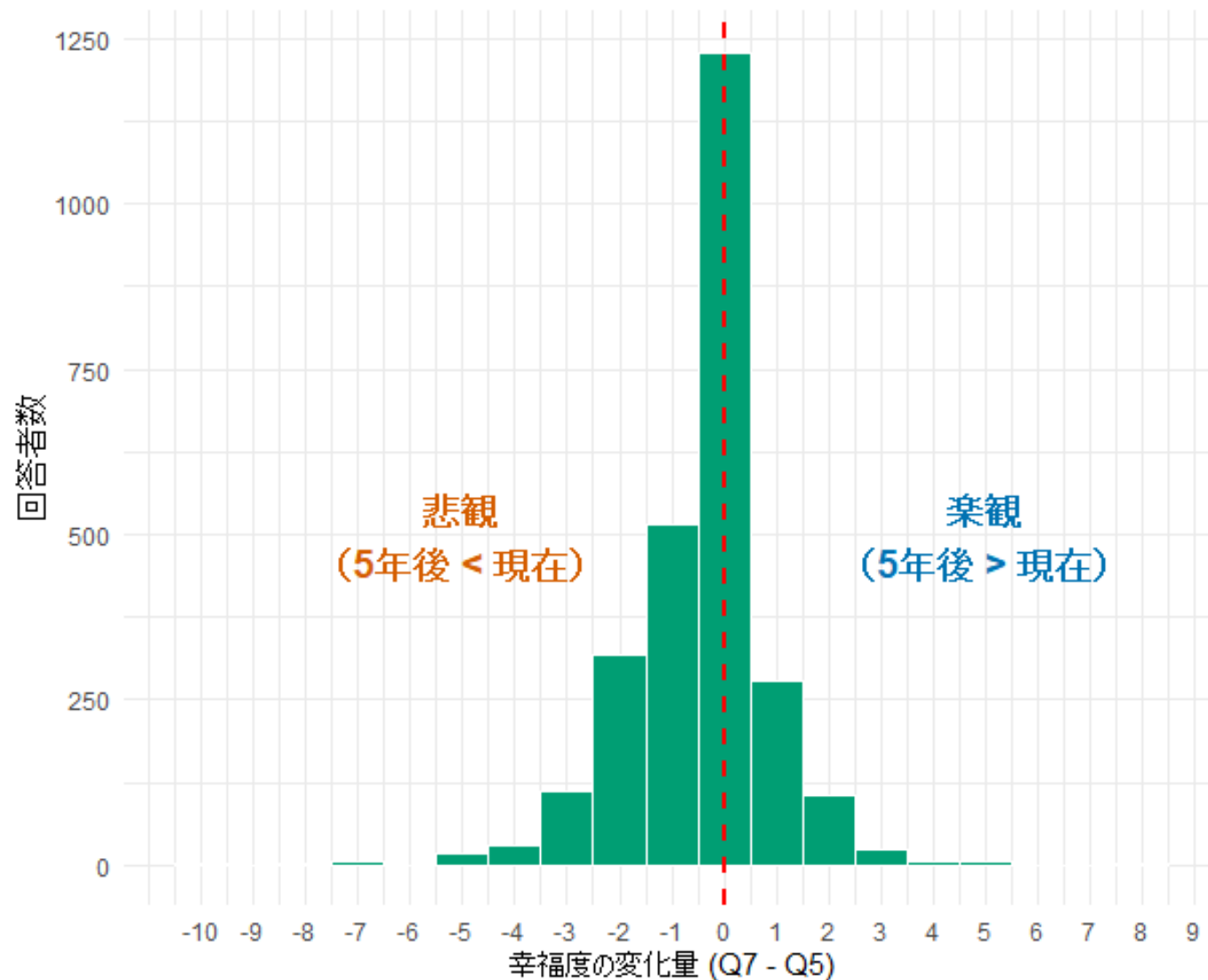


磐田市の
ウェルビーイング(5年後)

6.36

現在・5年後のウェルビーイング傾向

幸福度の変化量(5年後 - 現在)の分布
0は変化なし、正の値は楽観傾向、負の値は悲観傾向を示す



現在の幸福度(Q5)から5年後の幸福度(Q7)への変遷
各セルの数値は回答者数を表す

		現在の幸福度(Q5)										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5年後の幸福度(Q7)	0	26	9	5	6	1	3	0	2	0	0	1
	1	1	12	13	7	2	5	0	0	2	1	0
	2	3	4	13	32	9	8	1	3	0	0	0
	3	2	1	7	49	37	51	19	7	3	0	0
	4	0	0	2	9	35	44	35	13	5	0	0
	5	1	2	1	11	19	184	77	85	53	6	9
	6	0	0	0	4	6	23	102	76	60	6	4
	7	0	0	0	2	2	20	50	192	128	20	5
	8	0	0	0	1	1	9	18	66	357	73	46
	9	0	0	0	0	0	0	2	16	79	118	26
	10	0	0	1	0	0	2	1	3	29	21	141

人数

300
200
100
0

現在と5年後の幸福度(ウェルビーイング)の市民評価比較より、現状維持以上が多いものの、悲観的な感覚をもつ市民も一定数確認された

01

子どもたちの安心

子どもたちをど真ん中に
「安心できるいわた」



地域・社会
とのつながり



地域への愛着



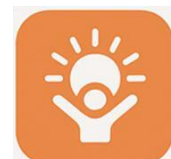
多様性への
理解・共感

人とのつながりが、子どもに“安心の土台”をつくと評価された。

02

暮らしと健康の安心

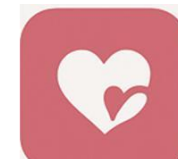
歳を重ねても、障がいがあっても、
病気になっても「安心できるいわた」



日々の充実感



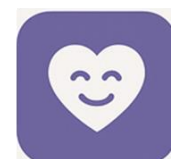
地域・社会
とのつながり



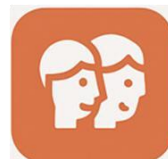
いきがい



身体の健康



心の安定



人間関係の良好さ

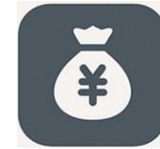


自己実現

心身の安定と人との関わりが、安心の暮らしを支えていると評価された。

03 まちづくりと防災への安心

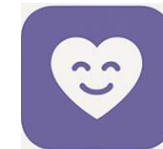
将来まで暮らしが
「安心できるいわた」



経済的な安定



身体健康



心の安定

地域の安全と信頼が、市民の心の安定を支えていると評価された。

04 未来と仕事の安心

10年後へ向け価値を創造し
「安心できるいわた」



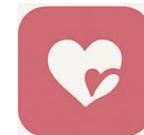
日々の充実感



他者への貢献感



地域・社会とのつながり



いきがい



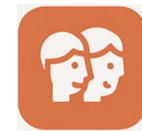
経済的な安定



身体健康



心の安定



人間関係の
良好さ



自己実現



地域への愛着



多様性への
理解・共感

挑戦できる環境が、未来への安心を生むと評価され、すべての項目への影響が示唆された。

「磐田市の“安心プロジェクト”がどう幸せにつながるか」 — 市民調査の結果 —

市民のウェルビーイング

しあわせバイタル



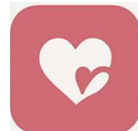
日々の充実感



他者への貢献感



地域・社会との
つながり



いきがい



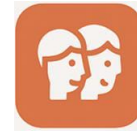
経済的な安定



身体の健康



心の安定



人間関係の
良好さ



自己実現



地域への愛着



多様性への
理解・共感

政策（5つの安心プロジェクト）

01 子どもたちの安心

子どもたちをど真ん中に
「安心できるいわた」

02 暮らしと健康の安心

歳を重ねても、障がいがあっても、
病気になっても「安心できるいわた」

03 まちづくりと防災への安心

将来まで暮らしが
「安心できるいわた」

04 未来と仕事の安心

10年後へ向け価値を創造し
「安心できるいわた」

下支え

05 安心できる市役所づくり

市役所を「判断する場所」から
「相談できる場所」へ

※「安心できる市役所づくり」は、しあわせバイタルを経由せず、
市民のウェルビーイングを直接支える“**信頼の基盤**”として作用

今後の展開



第3次磐田市総合計画との連携（案）

政策連動型ウェルビーイング評価指標（磐田モデル）

い

これからのいわた

わ

これからもいわた

た



第2次磐田市 総合計画

後期基本計画

令和4年度～令和8年度



市民のウェルビーイング

測定

磐田市民が重要視＋政策連動できるよう制度設計

しあわせバイタル



日々の充実感



他者への貢献感



地域・社会とのつながり



いきがい



経済的な安定



身体の健康



心の安定



人間関係の
良好さ



自己実現



地域への愛着



多様性への
理解・共感

＋

政策と連動している指標

特徴：磐田市特有の指標で構成されている

すべて連動している

磐田市の政策

第3次磐田市総合計画の政策

分野 03

子育て・教育

関連するSDGs



基本施策
02

特色ある教育の推進

ウェルビーイング指標



基本施策の方向

磐田市は、子育てに関する支援・補助・相談環境などが充実しており、子育てしやすい環境だと感じますか

夢や希望を持って生き生きと学ぶ児童生徒を育てるため、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進するとともに、教育内容の充実を図ります。